

Project Q 19

Young Quartets'
Challenge
Beethoven

主催：プロジェクトQ実行委員会
共催：学校法人上野学園
助成：(公財)朝日新聞文化財団／(公財)野村財団／
(公財)ローム ミュージック ファンデーション
制作：テレビマンユニオン

PROJECT Q chapter 19

プロジェクトQ [第19章] 若いクアルテット、 ベートーヴェンに挑戦する ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲全曲演奏会

《歓喜》のその末に 「ベートーヴェンの傑作と言えど」と聞かれば、多くの人は「交響曲第9番」と答えるのではないだろうか。ご存知の通り「第九」は彼の交響曲としての最後の作品であり、編成や構成、その規模においてそれまでの交響曲の概念を覆す作品として発表され、今では世界中で広く親しまれ彼の作曲家人生の集大成として扱われている。だが、その初演から死没までの間に、実はもう一つの傑作群が世に残されているということは、あまり知られていない事実だ。それこそ、今回プロジェクトQで取り上げる12番から16番までの弦楽四重奏曲、最晩年の2年間で書き上げられたベートーヴェンの終着点とも言える大傑作である。これまでよりさらに衰えた聴力に加え、視力の低下や腸カタルの悪化など全身の不調が続く上に、甥カールの自殺未遂などベートーヴェン自身の生活はいよいよ困難を極める。しかし、それらの困難を乗り越え、作品それぞれ葛藤と苦悩に向き合うような音楽から、時に赦しや感謝を感じさせるようなものが4つの弦楽器というシンプルな編成の中に注ぎ込まれている。彼が《歓喜》を高らかに謳った後に残した、後期弦楽四重奏曲群。その作品ひとつひとつに若き日本の演奏家たちが向き合い、マスタークラス、トライアル・コンサートを経てどのように息吹を吹き込むのか。ベートーヴェン生誕250年を軸にはじまった3年プロジェクトの最終章にぜひご期待いただきたい。

ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲全曲演奏会

2022年3月20日 日 ①14:00開演 ②19:00開演 | 会場◎トッパンホール

東京都文京区水道1-3-3
Tel: 03-5840-2200 (代)

チケット：各回2000円（全席自由） | 2022/1/14発売
トッパンホールチケットセンター：03-5840-2222（土日祝休） | www.toppanhall.com/

トライアル・コンサート | 2022年2月8日 火 / 16日 水 / 21日 月 各回16:00開演

会場◎オーケストラ・スタジオ（上野学園大学・同短期大学部10F）

料金100円以上（全席自由）要整理券・事前申込制／終演時払
2022/1/14受付開始



公益財団法人
朝日新聞文化財団

NOMURA 野村財団

Roma Music
Foundation
ローム ミュージック ファンデーション



ホームページ



facebook

プロジェクトQは、若いカルテットの発掘と育成を目的とした日本におけるカルテット振興運動です。参加する若いカルテットは、世界で活躍するカルテット奏者による「マスタークラス」を受講し、本公演の1か月前に「トライアル・コンサート」を体験した上で、「本公演」に臨むという3つのプログラムを通して約半年間で1つの作品に向き合います。

これまでに、ベートーヴェン、バルトーク、シューマン、ブラームス、モーツァルト、ハイドン、メンデルスゾーン、ショスタコーヴィチなど弦楽四重奏の主要レパートリーをテーマに開催し続け、今回が19回目となります。今回のテーマは一昨年、昨年に引き続き、弦楽四重奏曲の金字塔と言われるベートーヴェンの作品から後期6曲を取り上げます。2020年のベートーヴェン生誕250周年を中心に据え、初期、中期、後期と3年計画で取り組み、いよいよ最終章となります。

本年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により例年公開しておりましたマスタークラスは無観客での実施とさせていただきますでしたが、ヴォーチェ弦楽四重奏団、原田幸一郎、原田禎夫、今井信子、上海カルテット、アトリウム弦楽四重奏団を講師に迎え、5回に及ぶマスタークラスを実施しております。入国制限もあり、ほぼリモートによるクラスとなりますが熱のこもった充実したレッスンが繰り広げられております。そして2022年2月のトライアル・コンサートを経て3月20日の最終公演、ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲全曲演奏会でその成果を発表します。若いカルテットたちの挑戦に、どうぞご期待ください。

ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲全曲演奏会①

2022年3月20日(日) 14:00開演 [13:30開場] | トッパンホール

弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 作品127(1822-25)	アーテム・カルテット
弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 作品130(1825)	カルテット・リ・ナーダ
弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131(1826)	ポロニア・カルテット

ベートーヴェン後期弦楽四重奏曲全曲演奏会②

2022年3月20日(日) 19:00開演 [18:30開場] | トッパンホール

弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 作品132(1825)	レグルス・カルテット
大フーガ 変ロ長調 作品133(1825-26)	タレイア・カルテット
弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 作品135(1826)	ほのカルテット

- チケット：各回2,000円(全席自由) | 2022/1/14発売
- トッパンホールチケットセンター：03-5840-2222(土日祝休) | www.toppanhall.com/
- ※公演はMember's TVU CHANNEL <https://members.tvuch.com/>にて配信予定。

トライアル・コンサート

16:00開演 [15:30開場] | 会場：オーケストラ・スタジオ(上野学園大学・同短期大学部10F)

2022年2月8日(火)	弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131(1826)	ポロニア・カルテット
	弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 作品135(1826)	ほのカルテット
2022年2月16日(水)	弦楽四重奏曲 第15番 イ短調 作品132(1825)	レグルス・カルテット
	大フーガ 変ロ長調 作品133(1825-26)	タレイア・カルテット
2022年2月21日(月)	弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 作品130(1825)	カルテット・リ・ナーダ
	弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 作品127(1822-25)	アーテム・カルテット

- 各日100円以上(全席自由/要整理券・事前申込制/終演時払)
- 2022/1/14より受付開始。①住所、②氏名、③電話番号、④メールアドレス、⑤鑑賞希望日をメールにてseiriken@tvu.co.jpにお送りください。折り返し整理券を返送します。ご本人様限り1枚の整理券を発行させていただきます。定員になり次第締切となります。

アドヴァイザー

原田幸一郎

プロジェクトQ実行委員会

実行委員長：原田幸一郎

実行委員：今井信子 小栗まち絵 川崎雅夫 菅沼準二 原田禎夫

お客様へ

- 新型コロナウイルス感染症予防措置等についてはテレビマンユニオン www.tvumd.com、並びに各会場のHPにて最新情報を必ずご確認ください。
- 都合により曲目、曲順などを変更させていただく場合がございます。
- 未就学児のご入場はご遠慮ください。
- 公演実施の場合はチケットのキャンセル・返金は致しかねますので予めご了承ください。

プロジェクトQ実行委員会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 テレビマンユニオン内 TEL:03-6418-8617

PROFILES

アーテム・カルテット | Atem Quartet

橋和美優 / 佐々木つくし(ヴァイオリン) 衛藤理子(ヴィオラ) 泉 優志(チェロ)



2020年10月東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校の同級生4人により結成。第41回霧島国際音楽祭、ヴィオラスペース2021に参加し、磯村和英のマスタークラスを受講。これまでに菅谷早葉、松原勝也、大野おる、川崎和憲、河野文昭に師事。現在メンバー全員、東京藝術大学3年に在学中。

カルテット・リ・ナーダ | Quartet Re NADA

前田紀奈 / 福田麻子(ヴァイオリン) 太田滉平(ヴィオラ) 菅井環斗(チェロ)

©T. Taradate



2020年春に結成。これまでに原田幸一郎に師事。1986年より、師である原田幸一郎と故・数住岸子が企画し、高い評価を集めた室内楽シリーズ「NADA(ナーダ)」。サンスクリット語で“宇宙にあるすべての音”の意味で、音で人と人を結びたい、室内楽を音楽家だけでなく聴衆と分かち合いたいと願い、当時命名された。その思いを引き継ぎ意思から、「Re NADA(リ・ナーダ)」とした。とやま室内楽フェスティバルにて、毛利伯郎、練木繁夫と共演。

ポロニア・カルテット | Paulownia Quartet

東 亮汰 / 岸 菜月(ヴァイオリン) 堀内優里(ヴィオラ) 小林未歩(チェロ)

©池田篤衛・タレイア・カルテット



桐朋学園大学並びに女子高等学校音楽科に在学する4名で2016年に結成。学内の成績優秀者による第100回、第101回室内楽演奏会等に出演。桐朋学園宗次ホール オープニング・コンサート・シリーズにて清水和音と共演。

第41回霧島国際音楽祭、ミュージック・マスターズ・コース・ジャパン2021に参加。ポロニアとは、在籍する桐朋学園の「桐」を意味する。これまでに池田篤衛、磯村和英、山崎伸子に師事。サントリーホール室内楽アカデミー第6期フェロー。

レグルス・カルテット | Regulus Quartet

吉江美桜 / 東條太河(ヴァイオリン) 山本 周(ヴィオラ) 矢部優典(チェロ)



2019年プロジェクトQ・第17章の参加を機に結成。メンバーは桐朋学園大学、東京藝術大学の出身者で構成される。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、プロジェクトQ・第17章、第18章で研鑽を重ねた他、原田幸一郎、磯村和英、山崎伸子、原田禎夫に指導を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第6期フェロー。(公財)松尾学術振興財団より第31回松尾音楽助成(奨励)を受ける。ヴィオラスペース2021に出演。

タレイア・カルテット | Thaleia Quartet

山田香子 / 二村裕美(ヴァイオリン) 渡部咲耶(ヴィオラ) 石崎美雨(チェロ)



2014年東京藝術大学在学時に結成。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール2015第3位、第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第1位。日本演奏連盟主催「新進演奏家育成プロジェクト リサイタル・シリーズ」オーディションに合格。プロジェクトQ・第15、16、17章に参加。(公財)松尾学術振興財団より、第28、29、31回助成を受ける。サントリーホール室内楽アカデミー第5期フェロー。NHK 音楽番組「らららクラシック」、「クラシックTV」に出演。山崎伸子、磯村和英に師事。

ほのカルテット | HONO Quartet

岸本萌乃加 / 林 周雅(ヴァイオリン) 長田健志(ヴィオラ) 蟹江慶行(チェロ)



2018年1月結成。東京藝術大学在学中に結成。古典作品を中心に取り組んでいる。始動半年で第4回宗次ホール弦楽四重奏コンクール第3位、及びハイドン賞受賞(課題曲賞)。2019年5月秋台音楽コンクール弦楽四重奏部門第1位。現在、山崎伸子、松原勝也、市坪俊彦に師事。東京を拠点とし、京都、大阪、兵庫、名古屋などでリサイタルを開催。(公財)松尾学術振興財団より2020、2021年度松尾音楽助成を受けている。YouTube【ほのかるチャンネル】にて演奏動画などを配信中。